

つばきっこ通信

生誕から知る ～江戸川乱歩 編～

江戸川乱歩は大正時代に小説家としてデビューして昭和時代まで長く活躍した作家です。日本で最初に本格探偵小説を発表した江戸川乱歩の名前は聞いたことのある方も多いでしょう。また、江戸川乱歩の作品に登場するキャラクターである「明智小五郎」や「怪人二十面相」は作品を読んだことのない方でも聞いたことがあるのではないのでしょうか。今回は江戸川乱歩についてご紹介いたします。

ペンネームは憧れた
アメリカの小説家エドガー・
アラン・ポーのもじり

江戸川 乱歩 本名は平井 太郎
生誕:1894年10月21日
死没:1965年7月28日(享年70歳)
出身地:三重県名張町(現在の名張市)

江戸川乱歩は少年時代に日常と異なった別の世界である本に触れ活字へ興味を持ち、自分の文章を印刷して自分の少年雑誌を作ったこともあるそうです。学生時代には、早稲田大学の政治経済科で学びながら、大学初期にエドガー・アラン・ポーやコナン・ドイルなどの探偵小説を読みましたが、作家になろうとは考えていなかったそうです。大学卒業後に貿易商や行商、造船所、古本屋など様々な職業を経たのち大正12年に雑誌『新青年』に『二銭銅貨』を発表しました。最初の作品を発表してすぐには職業作家にはなろうとはせずに、その後も就職して職を変えながら大正13年末に作家になる決心をしたそうです。

参考『作家の自伝90』佐伯彰一／監修 日本図書センター 1999年 249p
『江戸川乱歩とその時代』武光誠／文 PHP 研究所 2014年 111p

わずかではありましたが、いかがでしたでしょうか。詳しく知りたい方は、資料を手にとってみてください。江戸川乱歩について興味があれば、これをきっかけに下記に紹介している作品も読んでみてください。

江戸川乱歩

代表作

少年探偵団シリーズ

昭和11年発表、雑誌『少年倶楽部』に掲載された小説、『怪人二十面相』から始まった子ども向けの作品

二銭銅貨

大正12年に発表、江戸川乱歩のデビュー作、日本初の探偵小説とされる作品

D坂の殺人事件

大正13年に発表、名探偵「明智小五郎」が初めて登場した作品

季刊 39号(2022年10月)

指定管理者：株式会社ヴィアックス

発行：所沢図書館 椿峰分館 〒359-1145 埼玉県所沢市山口5267 ☎04-2924-8041

スタッフのオススメ本 紹介コーナー

『日の名残り』

カズオ・イシグロ/著 早川書房 《933.7/イ》

2017年にノーベル文学賞を受賞したカズオ・イシグロが1989年に刊行し、同年のイギリス最高峰の文学賞「ブッカー賞」を受賞した本書は、人生初の休暇を貰ったイギリス人の老執事スティーブンスが休暇期間を使った6日間の短い旅の中で、絢爛華麗なイギリス貴族社会を見続けてきた自分の半生を回顧する物語です。

遠い異国の物語でありながらどこか日本の伝統文化との共通点を感じさせる、仕事一筋の愚直な老執事の最初で最後の小さな冒険譚である今作は秋の夜長にぴったりです。

『バズレシピ・史上最強の痩せめし編』

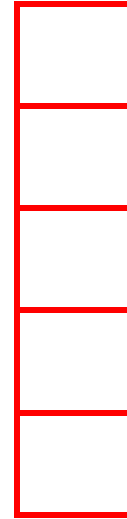
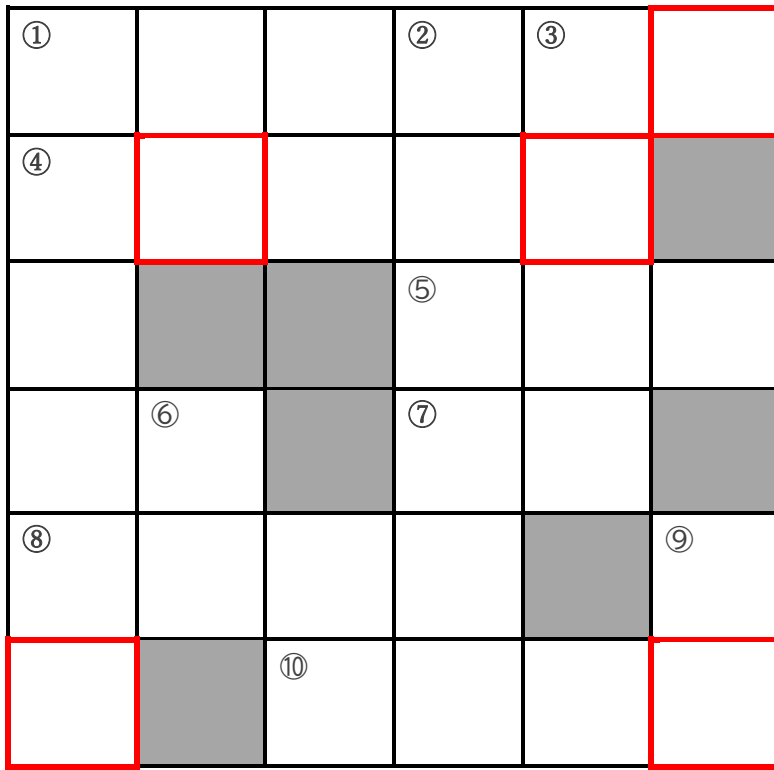
リュウジ/著 扶桑社 《596/リ》

読書の秋・食欲の秋。秋の夜長に読書三昧でちょっぴり減った小腹を満たすのに最適な料理レシピが盛り沢山の本書は、「至高のレシピ」「悪魔のレシピ」で一世を風靡した「ジャガアリゴ」の生みの親であり数々のレシピをバズらせてきたYoutube登録者300万人の料理研究家リュウジ氏の執筆した渾身のレシピ本です。

食べたい！でも太りたくない！そんな葛藤を解消する「史上最強の痩せめし」をぜひ試してみてもは如何でしょうか。

クロスワードパズルに挑戦!

#5



キーワード



下の問題に答えて空欄を埋めましょう。すべて解けたら赤で囲まれた文字を組み合わせてキーワードを導き出してみましょう。わからなかった問題は、ぜひ図書館で調べてみてください。

注意:問題の「○」には全てひらがな表記で当てはまります。漢字のものはひらがなに直してみましょう。

【横の問題】

- ①横 第167回直木賞を受賞した高瀬隼子氏の著作『おいしいごはんが○○○○○○○のように』
- ④横 ジョセフ・ジェイコブス氏の著作が有名なイギリスの民話『ジャックと○○○○○』
- ⑤横 木材、土石などを使う道路などの工事『○○○工事』
- ⑦横 水野敬也氏の著作『夢をかなえる○○』
- ⑧横 琥珀のことを英語で『○○○○○』
- ⑩横 亜目ヒト上科ヒト科、学名ではホモ・サピエンス・サピエンスのこと『○○○○○』

【縦の問題】

- ①縦 1993年に初版が出版された、神沢利子氏文、柳生弦一郎氏絵のたまごが題材の絵本『○○○○○○○ちゃん』
- ②縦 夏川草介氏の著作コロナ診療を題材とした作品『臨床の砦』続編『○○○○○○○』
- ③縦 今野敏氏の著作の暴力団相手の刑事が題材のシリーズ第3作『○○○○ディーヴァ』
- ⑥縦 2022年本屋大賞翻訳小説部門受賞の『三十の反撃』の著作者『○○・ウォンピオン氏』
- ⑨縦 福井県立図書館編著の覚え違いタイトル集『100万○○死んだねこ』

答えは11月中旬頃に入口掲示コーナーに張り出します。
また、1月発行予定の次号にキーワードの答えを掲載いたします。
(前回38号のキーワードは「だいおういか」でした!)



椿峰分館 秋のイベントのお知らせ



秋の読書週間

10月22日(土)~11月27日(日)

『中学生のみなさんの「思い出の一冊」』

椿峰地域の中学生のみなさんに、思い出の本や気になる本のPOPを書いて頂きました。本と一緒に展示していますので、ぜひご覧ください。



第23回図書館まつり



11月26日(土)~27日(日)

『大人の朗読会』

11月27日(日) 11時~(30分ほど)

定員:6名(事前申し込み)
受付開始:11月6日(日)から

短編やエッセイなどを
朗読いたします。
ぜひ、ご参加ください。



『やってみよう☆ 自分で貸出!』

11月26日(土)・27日(日)

自分で本を借りる
体験ができるよ!
証明書もプレゼント♪

